



# 十中だより

6月号

令和6年6月10日  
文京区立第十中学校  
校長 南 英昭

## ～古都を訪ねて～

710年、794年といえば社会科の歴史で出てくる代表的な年号です。その年は、平城京、平安京に遷都された年です。現在から1300年程前の都ということになります。その奈良・京都に5月28日(火)から30日(木)まで3年生は2泊3日の修学旅行に行ってきました。

初日の最初に向かった法隆寺は、世界最古の木造建築があり、日本で最初に世界文化遺産に登録されたことでも知られています。その法隆寺から薬師寺、興福寺を訪ねました。2日目は、東大寺から始まり、班ごとに京都の名所を選択して巡り、3日目も京都を半日見学しました。結果的に時代の古い順に見学する歴史をたどる旅ともなりました。



## 年月を経て高まる価値

身の回りには、新しい方がよくて古くなると価値が下がるものは、多くあります。しかし、古いことあるいは長い時間を経て現存していることで価値が高まっているものもあります。木材は、火災に弱いですが、一般的に伐採後、100年単位で少しずつ強度が増すそうです。また、1000年経過するまでは強度がそれほど落ちないとも言われています。法隆寺も改修や補修をしながら現在に至っていますが、素材の良さは昭和の大改修で取り替えた木材が全体の3割程度だったともいわれていることからよくわかります。

また、日本は、地震が多く、耐震が必要であり、湿気も多い国のため、良い素材と当時の卓越した建築技術がなければ現存は難しかったことが想像できます。法隆寺は、強度の高い木材で釘を使わず、地震の振動を自ら揺れる構造で倒壊を防ぐ工夫もされていました。その建築技術は、現代のスカイツリーにも応用されているというので驚きです。1000年以上その姿を保つには、様々な技術や工夫があり、それを保存するために計り知れない多くの人々の尽力があって成り立っています。

## 先をみること

何かを造ろうとした時は、良いものを造ろうとまず考えます。その良いもの基準は、美しさ、大きさ、輝きなどたくさんあります。我々が過去の文化財を間近で見ることができるのは、丈夫さや強さという視点があったからです。様々な視点で長期的に物事を考えることの大切さを改めて教えてくれています。

人の行動において、何か目標を立て、上を目指して努力することはとても大事なことです。しかし、時には「上をみる」ことよりも「先をみる」ことのほうが必要な場合もあります。この先、その必要性がさらに増していくのではと考えています。



## 令和6年度 運動会

### 《燃やせ！輝け！十中魂！！》

5月18日(土)、晴天に恵まれた六義公園運動場において、第76回運動会を実施することができました。今年のスローガン「燃やせ！輝け！十中魂！！」の通り、一人一人が自分のもてる力を発揮することができました。また、係生徒が手際よく自分たちの役割を全うして円滑な進行に貢献し、観戦者が応援で盛り上げる一体感のある十中らしい運動会になりました。



3年 創作ダンス

### 《自分たちができる最高のパフォーマンスを》

学年種目では、1年生は最後まで勝敗がわからない接戦を演じ、2年生はそれぞれの学級が自分たちの新記録を目指して挑みました。そして、3年生の学年種目の最後には、学級全員での長いムカデによる競争となりました。先にゴールした学級が、みんなで必死に後の学級を応援している姿は、学年の団結力と十中生らしさが表れている印象的な場面でした。一人一人が自分のもてる力を存分に発揮し、満足感のある一日になったのではないのでしょうか。



1年 台風の目



2年 Jump High



3年 一致団結

### 《御礼》

当日は、多くの来賓の皆様、保護者の皆様にご来場いただきありがとうございました。また、PTA役員の方を中心に地域の方々にもご協力いただき、円滑に運動会を進行することができました。ご支援を心より感謝いたします。

## 6月は「ふれあい月間」

東京都では、6月・11月を「ふれあい月間」と定めています。いじめや不登校、暴力などの問題行動を未然に防ぎ、生徒の健全育成につながる具体的な取組を重点的に行うことを目的としています。本校では、道徳の授業や特別活動などの教育活動を通して、学校全体の意識を高めています。6月・11月・2月の年3回「学校生活についてのアンケート」を実施して現状の点検・確認を行っています。さらに、1年生については「スクールカウンセラーとの全員面接」も実施しています。

また、教職員も基本方針の共通理解を図り、教育相談体制を充実させて組織的に対応してまいります。